古石ひでさと4期目に向かっての議会活動
ひでさと
古石
後援会だより
URL：http://古石.com/

第 40345号
発行令和３年３月
古石　ひでさと後援会事務所
岩見沢市幌向南１条１丁目
TEL　２６－２２２６

E-mail-furuishi@gray-plala.or.jp

市政についてご提案、ご意見などがありましたらお聞かせください。

岩見澤市議会質問　空知の女性議員

下さい
26)22·3700
26)22·8367

質問、答弁ダイジェスト

市議会定例会　代表質問に4氏登壇

【岩見沢】市議会第1回定例会は8、9の両日、4会派による代表質問が行われ、市政方針や教育行政執行方針について質した。なお、10日には河合清秀議員（みどりの会）、上田久司議員（日本共産党議員団）が一般質問に立った。定例会は11日から本会議を休会し、予算審査特別委員会に突入。14～17日の4日間で集中審議を行う。市は最終日の22日に、副市長の人事案件の追加提案を予定。新年度予算案などとともに採決を求める。代表質問の質問、答弁要旨は次の通り。【新田一寛】

成長に必要な未来への投資

新年度予算総括

▼豊岡義博議員（市民クラブ）

—新年度予算案編成の観点や方向性は。市長としてどのように総括するか

答弁　一般財源が大きく減少するなど財政状況がますます厳しくなる中、収束が見えない新型コロナウイルスに的確に対応するとともに、人口減少や少子高齢化などの地域課題の解決に、しっかりと対応することを念頭に取り組んでいる。

今後もそれぞれの事業分野でステップアップを目指すため、新年度予算にも反映してきた。

厳しい財政状況の中でも長期的視点に立った、将来に渡って成長を続けるために必要な「未来への投資」と捉えている。事務事業の見直しなどを図るとともに、事業の中身を充実させることができたと考えている。新年度も持続的な財政運営に留意しながら、未来に向けたまちづくりに取り組みたい。

—公共交通の今後のあり方は

答弁　東部丘陵地域におけるコミュニティーバスの導入は、中央バス・市営バスの万字線2路線に代わるもの。運行経費は従前の4割程度に圧縮が見込まれ、地域で将来に向けた持続性の確保が図られたと考える。

コロナ禍で利用者数の減少が続き、路線維持のための市の補助額も年々増加しており、これ以上の負担を続けるのは困難である。運行の効率化などで路線バスの輸送力の確保を図る必要がある一方、コミュニティーバスへの転換や乗合タクシーの活用などで交通体系の最適化、持続性を高めていくことが重要と考えている。

▼野尻清議員（政和会）

—自宅療養する感染者等の避難所対応や避難行動の周知は

答弁　指定避難所の利用スペースを分けることが難しく、イベントホール赤れんがを専用の避難所として予定している。専用の避難所では、感染者と濃厚接触者の利用スペースを分けて対応することにしている。

自宅療養者に対しては昨年6月以降、岩見沢保健所が送付する書類の中に、自宅療養者が災害時における避難について周知するチラシなどを同封している。

—学校給食を充実するための具体的な方策は

答弁　市販の調理加工品について、調理所内の手づくりを増やすほか、野菜についても旬の地元食材を使い、季節感のある給食を提供することで、食に対する関心を高める取り組みを進める。

また、アンケート結果や意見、献立コンクールの受賞作品を取り入れるなど、子どもや保護者、栄養士や調理員が一緒になって魅力ある給食の提供に取り組みたい。

—芸術文化活動団体等の後継者育成の支援は

答弁　時代の流れを捉えつつ、芸術文化の継承、発展に向けた取り組みを進めている。子ども文化祭や市民の文化祭など、長い歴史を持つ取り組みについて、コロナ禍などの制限がある中でも工夫して継続できるように支援するとともに、新たな取り組みに対しても関連イベントの企画などに連携して取り組みたい。

後継者の育成は難しい問題だが、時代に合った支援や育成のあり方を引き続き検討したい。

▼山田靖廣議員（日本共産党議員団）

—パートナーシップ制度の導入は

答弁　第3次いわみざわ男女共同参画実践プランで、性の尊重などの人権についての意識啓発を重点項目に位置付け、性の多様性に関するガイドライン策定、LGBTイベントを開くなど、啓発に取り組んでいる。

パートナーシップ制度の導入は、同プラン推進委員会で協議するほか、関係団体などへの意見聴取、パブリックコメントなどで広く意見を伺い、検討を進め、新年度中の導入を目指し、取り組みたい。

制度導入による利用可能な行政サービスは当事者等のニーズや他都市の状況を踏まえ、検討したい。

—市内循環バス運行の再検討は

答弁　コロナ禍の影響で利用者数の減少が進んでいて、市からの運行補助金は今以上の負担を続けるのは困難な状況にある。全路線の収支がマイナスで、黒字に転換する見込みが薄い状況をふまえると、循環バスの新たな導入は赤字運行を前提にすることになり、バス事業者のさらなる収支悪化、市の負担増加につながることが明らかである。

今後のバス路線の見直しについても、事業者の経営に与える影響などを見極め、利便性と効率性に留意し、慎重な検討を進めたい。

—小中一貫教育の取り組み状況と説明機会について

答弁　昨年10月、小・中学校適正配置計画に基づき、北村地区と栗沢地区に小中一貫教育を導入することを決定した。

現在、2023年4月からの導入を見据え、教育研究所と両地区の学校が連携し、具体的な教育課程や地域の特色ある教育活動についての検討を進めている。概要が決まった段階で両地区の学校運営協議会などへの説明を行い、意見を聞くことにしている。

▼猪口満雅議員（公明党）

—カーボンニュートラルの取り組みについて

答弁　新年度は、市の公共施設等における再生可能エネルギー設備等の導入ポテンシャル調査を行うとともに、行政区域全体を対象に「地球温暖化防止実行計画」区域施策編を策定し、市施設を対象にした事務事業編の見直しを行う。ゼロカーボンシティについては、区域施策編の策定後に取り組み方針を掲げ、表明したい。

—デジタル社会構築の中で女性活躍の推進については

答弁　第3次いわみざわ男女共同参画実践プランにおいて、多様で柔軟な働き方ができるよう、女性の就業・企業支援に努めることにしている。地域特性のICT環境を生かした児童見守りや在宅就業の推進など、さまざまな施策を展開している。

市で目指す「誰もが活躍できる地域社会」実現には、活用する仕組みや活躍する場の社会実装が重要で、デジタル人材の確保も大きな課題。高度な技術を持つ人材活用や育成体制を確保するとともに、ライフスタイルに合わせて活躍できるよう、人材育成プログラムを展開したい。

—ヤングケアラー支援の取り組みは

答弁　周りが気づいて手を差し伸べるアウトリーチ型の支援が効果的であり、この問題に関する周知を行うほか、子どもたちに最も身近な大人である教員や保育士等を対象にした研修会を予定している。具体的な支援は、子どもに対してだけでなく、福祉サービスの活用を含め、家庭全体を支援する必要がある。これまでの体制のほか、新たに特別育児支援ヘルパーの活用、子ども・子育て会議にヤングケアラーに関する専門部会を設置し、必要な取り組みを検討する予定だ。

クリーニングの　光明舎
ザ・ビッグ店　岩見沢市2条東14丁目　℡0126-22-5581
クピド・フェア店　岩見沢市志文町　クピド内　℡0126-23-1111
本舎：社会福祉法人　岩見沢光明舎　岩見沢市2条東14丁目2番地　℡0126-22-1779

議会に女性の声もっと

自分らしく地域の力に

歌志内の山崎市議

山崎瑞紀市議

[illegible]

多様な人材の活躍応援

深川の田畑市議

議場で一般質問に立つ深川市議会議員の田畑[illegible]さん

[illegible]

きょう国際女性デー

空知の女性議員9.6%

全国14・8%を下回る

8市町はゼロ

3月8日は女性の社会参画などを考える国連の「国際女性デー」。空知管内の市町村議会の全議員数のうち、女性の割合は9・6%と全国平均を大きく下回っており、8市町の議会でゼロとなっている。管内の女性議員から活動の現状や課題を聞き、議会に女性が少ない背景や多様な人材が活躍するためのヒントを探った。（[illegible]）

総務省によると、2020年12月末現在の女性議員の割合は全国の市区町村議会で14・8%、道内の市町村議会で13・7%。一方、今年2月末現在の空知管内は議員数261人のうち、女性は25人で、割合は9・6%にとどまる。

女性議員がいない市町村議会のうち、秩父別と雨竜の両町は議会設置以来、男性しかいない。沼田町では1995年、由仁町では2003年、三笠市では11年の選挙以降、女性がゼロとなり、岩見沢と芦別の両市は19年の前回選挙でいなくなった。月形町は19年に1人が当選したが、20年の町長選に出馬し辞職した。

現職議員のうち女性の割合が最も高かったのは、新十津川町の30%（10人中3人）で、20年までに指導的地位に占める女性の割合を少なくとも30%にする政府目標を空知管内の議会で唯一、達成した。次いで、歌志内市が28・6%（7人中2人）、南幌町が27・3%（11人中3人）だった。

空知管内の自治体の女性議員数と女性議員率

自治体名	女性議員数	全体数	女性の議員率(%)
夕張市	2	8	25
岩見沢市	0	22	0
美唄市	1	14	7.1
芦別市	0	12	0
赤平市	1	10	10
三笠市	0	10	0
滝川市	2	15	13.3
砂川市	1	12	8.3
歌志内市	2	7	28.6
深川市	2	14	14.3
南幌町	3	11	27.3
奈井江町	2	9	22.2
上砂川町	1	8	12.5
由仁町	0	10	0
長沼町	1	14	7.1
栗山町	1	12	8.3
月形町	0	8	0
浦臼町	1	9	11.1
新十津川町	3	10	30
妹背牛町	1	10	10
秩父別町	0	9	0
雨竜町	0	9	0
北竜町	1	8	12.5
沼田町	0	10	0
管内全体	25	261	9.6

※今年2月現在、女性議員率は小数点第2位を四捨五入

ねぶた祭今年は8月

岩教大生ら企画、運営

ねぶたの制作や商店街とのコラボなどを企画する岩見沢ねぶた祭り実行委＝2021年9月

【岩見沢】昨秋に初開催した岩見沢ねぶた祭を、今年は8月に開催することが決まった。道教大岩見沢校の学生を中心に、市民有志も加わって実行委を結成して企画、運営する。4月からさらにメンバーを公募するほか、近くクラウドファンディングで開催費を募る。（石川実和）

岩見沢ねぶた祭は、同校の学生らでつくる実行委の主催。約20年前に岩見沢駅の職員や同校学生が市内でねぶたを運行していた歴史があり、祭りとして復活させた。実行委は昨年8月から2カ月にわたって市内でミニねぶた作りワークショップなどを開催したほか、祭り最終日の同10月16日夜には岩見沢駅東市民広場公園で4台のねぶたを運行した。

来月、メンバー公募／運営費CF募集

昨年は実行委で決めた企画を学生や市内の高校生、市民らで実行する形だったが、今年はより多様なアイデアでまちを活性化させるために運営方法を改める。ねぶたの制作や祭りの運営を行う「プロデュースチーム」と、小学校で祭りをPRしたり商店街とのコラボイベントを企画したりする「プロジェクトラボ」に分ける。ラボは同校の学生に限らず、市内に在住・通学する高校生や大学生、社会人が対象で、4月1～11日、ホームページでメンバーを募集する。

運営費などは約200万円を目標として3月15日～4月30日、クラウドファンディングで募る。新たに実行委員長に就任した道教大岩見沢校3年の岩松千紘さん(21)は「昨年はまちに活気と賑わいが生まれた。復活した祭りを継続させていくために、昨年以上に学生と市民が一緒につくっていく祭りにしたい」と話す。